

# 漁網ミサンガで復興支援

## 東日本 大震災

奈良

奈良市の平城宮跡で3〜5日に開催される恒例の「平城京天平祭」

で、東日本大震災の被災地の女性たちが漁網で編んだミサンガなどが販売される。奈良市の公益社団法人と中高生らが合同で企画した。出店する「三陸に仕事を！プロジェクト」実行委員会の栗石吉隆事務局長(56)は「津波だけでなく、地震や台風はいつ来るかわからない。被災地のことを知り、日ごろの備えを考えてほしい」と話している。

【小坂剛志】

出店するのは、ミサンガ業界で漁網を編んだ「浜のガづくりで女性の仕事やミサンガ環」の多く生きがいづくりを支援している同実行委と、盛岡市の有志でつくる「いわて三陸復興食堂」。手作

きようつから天平祭で「三陸に仕事を」実行委が出店

は、「復興イカ焼きそば」や大船渡産タコの唐揚げ、岩手の地酒を販売する。

2団体の活動を支援している公益社団法人「ソーシャル・サイエンス・ラボ」(奈良市)と、奈良女子大付属中等教育学校(同)の生徒らによる「復興支援を考える有志生徒の会」が企画。これまでも県内で販売したことがあるが、天平祭での出品は初めて。

当日は被災地の状況を伝える写真パネルも展示する。天平祭は午前10時〜午後5時。



天平祭で販売される東日本大震災の被災地でつくられたミサンガ  
＝奈良市の平城宮跡で